

2. 村にある工場と仕事

わたしたちの昭和村には、どんな工場や職場しよくばがあるでしょうか。
また、そこではどのような仕事をしているのでしょうか。

(1) プラスチック加工工場

昭和村には、1973年(昭和48年)に、プラスチックの加工工場ができました。

今から10年くらい前までは、電気機器でんきききの組み立てや部品ぶひんのプラスチック加工を行っており、最も多い時は120人以上の人が働いていました。



現在は、1カ月に、約3,000万個もの部品を製造せいぞうしています。また、組み立て作業きぎょうを海外(外国)で行うようになってきており、機械化きかいも進んだことから、現在この工場こうとうで働く人は40名ほどになっています。

工場こうとうで働く人のお話

この工場では、主に使いすてカメラやテープレコーダーのプラスチック部品を作っています。使いすてカメラは、そのほとんどが日本国内こくないに出荷しゅつかされます。テープレコーダーのプラスチック部品は、ほとんどを外国ぐわいこくに輸出ゆしゅつしています。

ここでは24時間機械きかいを使って、製品せいひんが作られていきます。夜の間あいだは、機械を監視かんしする人が交代こうたいで働いています。

この工場で作られた製品は、雪ゆきが降らない時期じきは舟ヶ鼻峠ふねがなすげをとおって運ばれていますが、冬は通れないために、金山町かみやまをとおって東京方面とうきょうほうめんに運ばれていきます。冬でも通れる道路みちの整備せいびを一日も早く願ねがっています。

